

令和4年度第1回帯広市地域自立支援協議会就労・社会活動部会 及び 十勝障がい者就業・生活支援センターだいち 令和4年度第1回地域就労 支援連絡会議

8/31(水)に令和4年度第1回帯広市地域自立支援協議会就労・社会活動部会及び十勝障がい者就業・生活支援センターだいち令和4年度第1回地域就労支援連絡会議(以下、合同会議)を開催いたしました。コロナ感染対策ならびに多くの皆様に参加していただけるように会場参加とZOOM参加によるハイブリッド開催とし、当日は福祉サービス、行政機関、教育機関、企業などの関係機関より100名を超える方々に参加いただきました。

合同会議とは

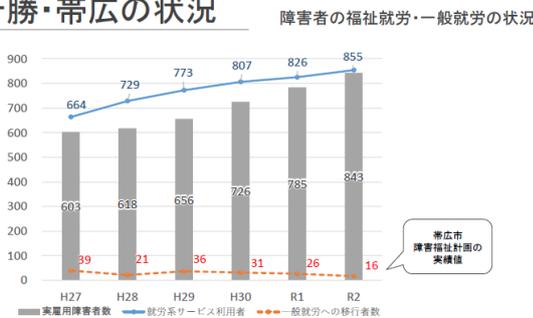
十勝管内19市町村における、就労支援・障がい者雇用の情報共有・提供、理解促進を目的に開催しております。帯広市と当センターが共同で行うことにより、幅広い対象者に参加いただけるようになり、十勝管内の現状や課題を一同に会して共有できる場になっています。



今回の合同会議では、第1部にて十勝管内の障がい者雇用や就労支援の現状を受けて、新たに始まる帯広市の取り組みの説明を行い、第2部ではこれからますます障がい者雇用が活発になっていくことが予想されることから障がい者雇用に関心のある方々に幅広く知っていただきたい内容として、就労支援において大切なアセスメントをテーマにした講演を行いました。それぞれの内容については、下記をご参照ください。

第1部 帯広市の就労支援に関する取り組み

(1) 十勝・帯広の状況



帯広市は第六期帯広市障害福祉計画において、就労支援の強化を重点項目の1つとして位置づけており、“福祉就労(就労系福祉サービス)から一般就労(一般企業での就職)への移行者数”等を成果目標にしています。しかし、一般就労への移行者数の停滞や、帯広市内の法定雇用率達成企業割合が49.6%という現状があります。

そのような現状を受けて、帯広市はこれまでの取り組みに加えて、今年度7月から新たに『障害者雇用理解促進事業(下記、イメージ図を参照)』を開始しております。この事業は、企業における障がい者雇用の不安解消・理解促進と、雇用先となる企業の拡大・就労定着を図ることを目的としており、ハローワーク帯広・帯広市・社会福祉法人慧誠会が連携して、①成功事例集の作成・②企業訪問の実施・③職場体験のコーディネート・④就職マッチング支援を行っていきます。まだまだ動きだしたばかりの事業ですが、今後の動向に期待が高まる内容でした。

R4.7月～

3 障害者雇用理解促進事業

(委託先:社会福祉法人 慧誠会)

◆ 企業における障害者雇用への不安解消や理解促進を進め、障害者を雇用する企業の面的拡大と就労の定着を図ることを目的とする。

